

福祉サービス第三者評価 評価結果

[児童分野—保育所]

「社会福祉法人 徳栄会 もんもん保育園」

神奈川県平塚市花水台12-28

福祉サービス第三者評価機関
財団法人平塚市生きがい事業団

目 次

I.	事業所概要		
1.	事業所基本事項	2
2.	事業所の概要	2
3.	事業所の受入・利用可能サービス	2
II.	評価実施概要	2
III.	評価結果		
1.	総合評価	3
2.	評価領域ごとの特記事項	5
3.	分類別評価結果	*	7
4.	評価結果一覧	*	16
5.	観察方式による利用者本人調査	*	
	(1) 実施概要	19
	(2) 観察調査	19
	(3) 聞き取り調査	21
6.	利用者アンケート調査結果	*	
	(1) アンケート調査の実施概要	24
	(2) アンケート調査の結果概略	24
	(3) アンケートの回答集計	25
	(4) アンケート結果(問別の回答分布)	31
	(5) アンケート結果(問別の満足率比較)	36
	〔付表〕利用者家族アンケート様式(原文)	37
IV.	事業所意見	43

*当評価機関が定める公表様式による評価結果

I. 事業所概要

1. 事業所基本事項	
事業所名	社会福祉法人 徳栄会 もんもん保育園
所在地	〒254-0824 神奈川県平塚市花水台12-28
最寄駅	JR平塚駅
連絡先	TEL 0463-33-2325 FAX 0463-33-2923
代表者名	園長 金子 玲子
URL	http://www.monmon-hoikuen.ed.jp
2. 事業所の概要	
開設年月日	平成4年4月1日
定員数	60名
園舎	鉄筋コンクリート 2階建
職員総数	園長1名、主任保育士1名、保育士11名、事務員1名、栄養士1名、調理員2名 計17名
3. 事業所の受入・利用可能サービス	
受入年齢	2歳児から就学前児童まで
保育時間	11:00から22:00まで(月曜日～土曜日)
延長保育	有 7:00から11:00まで
休日保育	無
一時保育	有 7:00から22:00まで
障害児保育	有
病後児保育	無

〔注〕 事業所の概要および受入・利用可能サービスは、平成20年3月現在のものです。

II. 評価実施概要

評価実施期間	平成19年12月5日から平成20年3月31日まで
書面調査方法	事業者からの提出資料についての調査 入園案内、事業計画、保育計画、職員配置表など事業に係る資料
自己評価方法	当評価機関作成の評価基準に基づく事業者全職員による自己評価 各クラス単位で検討したものを主任が取りまとめ、最終的に園長が集約
評価調査者による 訪問調査方法	評価調査者2名による訪問調査（実施日：平成20年2月5日から2月6日まで） 施設見学、保育観察、書類確認、聞き取り調査（園長、主任保育士、保育士、栄養士、事務長）
利用者アンケート 調査実施方法	保護者全員を対象としたアンケート調査 事業者による説明後、当評価機関所定の様式を保護者に手渡し、無記名で記入後 所定の封筒に入れて直接当評価機関に郵送（回収率：87.3%）
観察方式による 利用者本人調査方法	評価調査者による利用者本人（園児）に対する観察およびヒアリング 各クラスについて観察、5歳児については直接本人より聞き取り調査も実施
評価委員会による 評価決定日	平成20年3月21日
評価委員会構成委員	東 奈美、外山 松子、鈴木 京子、原田 勝司
評価調査班 (推進機構登録No.)	神機構—221、神機構—299
使用評価基準	当評価機関独自評価項目「評価調査表①」

Ⅲ. 評価結果

1. 総合評価

(かながわ福祉サービス第三者評価推進機構評価結果等公表規程第4条第1項に基づく評価結果)

第三者評価結果報告書(総括)

報告日 平成20年3月31日

評価機関名	財団法人平塚市生きがい事業団		
評価実施期間	平成19年12月～平成20年3月	公表年月	
対象サービス	児童分野	対象事業所	保育所

総合評価(優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項)

【園の概要】

- 社会福祉法人徳栄会「もんもん保育園」は、平塚市の南西部の住宅地に、平成4年4月神奈川県で初めての夜間保育園として開園した私立保育園です。徳栄会は他に放課後児童健全育成事業「なでこ児童クラブ」、乳児夜間保育所「苗・もんもん保育園」を運営し、0歳～10歳までの乳幼児及び児童を一貫して保育する体制を整えています。
- 当園のモットーは「食事」と保育士の「愛情」です。「食事」は子どもの体を育て、「愛情」は子どもの心を育てるといふ信念のもとに保育を実施しております。園が行っている利用者アンケートでは、保護者から「子どもも自分も変わった」、「自分だけではこんな良い子に育てられなかった」と感謝されるケースもあり、質の高い保育へのこだわりが感じられます。
- 保育時間は午前7時から午後10時まで、1日2回昼食と夕食の完全給食を実施しています。さらに延長保育、一時保育など、多様な保育形態に応じています。職員総数は17名、園長、主任保育士、保育士、栄養士、調理員、事務長の体制で、国の基準以上の職員を配置しています。保育士の中には社会福祉士、精神保健福祉士の資格を保有する人もいます。県内での夜間保育園のさきがけとして自負を持ち、保護者の就労支援に意を注いだ園の運営に全員で取り組んでおります。新園開園に伴い、平成20年4月より定員60名から45名、対象園児は2～5歳から0～5歳へと業容変更予定です。
- 今回の第三者評価にあたり、保護者へのアンケートを行いました。回収率が87.3%と高率で、園と保護者との良好な協力関係が窺えます。

【優れている点】

- 保育園向けのソフト「園児管理システム」(園の運営に関する総合管理システム)を核として、各種マニュアルをも整備、それらを活用した運営システムで園長のリーダーシップのもと、全職員一丸となった熱意ある取り組みがなされています。
- 保育サービスの内容の評価見直しは、本年度から「QC活動委員会」(保育サービス向上を検討する委員会)を設け、職員全体での取り組みとなっております。年に4回開かれ既に多くの成果をあげています。
- 保育目標に「食育を通して命の大切さを知り、丈夫な体を作る」とあるように保育と同じように給食指導計画を作成、「食育活動委員会」を設け積極的な食育活動を行い、保護者からも好評を得ています。
- 保護者個人面接、父母の会、家族交流会、アンケート、連絡帳、意見箱の設置など保護者の意向を聞こうとする体制が整っており、保育に反映させています。併せて情報誌「Nami no Oto」を毎月発行して保護者との連携を深めています。

- 「自分なりの一流をめざし、ももんブランドを確立させる」をテーマに職員の研修計画を立案し、平成18年度では延べ80回の研修を職員が受講しています。その結果、職員の保育能力の向上が図られています。
- 園外保育を積極的に行っており、園庭がやや手狭なことから、近隣の公園の散歩を多く取り入れる他、多様な園外活動を実施しております。例えば、遠足(月1回)、花火大会見物の他、大型バスを利用した異年齢交流としても、サファリパーク見学、都内テレビ局見学、みかん狩り、地引き網などを行っております。平成18年度では、こうした活動が延べ29回行われ、体が丈夫で協調性を備えた子どもの育成に努めています。
- 「意見・要望・苦情に関するマニュアル」を独自に作成し、利用者に安心して相談しやすい環境づくりをしています。

【独自に取り組んでいる点】

- 園長の発案により発足した子育て支援活動「あーんとあんと」は、民生委員、児童委員と連携し、長年、活動を展開することで地域の子育て家庭の人たちとの良好な関係が築かれ、大きな評価を得ています。主な活動内容としては、子育て家庭の人たちの仲間作りの支援、安心しておしゃべりができる場の提供であります。また、園の嘱託医による医療相談、栄養士による人気給食レシピの紹介、食事作りなどを行い、園全体で子育て支援に取り組んでいます。
- 夜間保育園として1日2回の完全給食を行っております。安全を追求した食事提供を目指し、食材調達においては、可能な限り無添加、無農薬の食材、あるいは遺伝子組み換えを行っていない食材を選んでおります。
- 外部専任講師による「英語遊び」、「体操遊び」などを保育メニューに取り入れ、保護者の要望に応える園の運営がなされています。

【改善すべき事項】

- マニュアル類は整備されているが、その制定日、改定日及び作成者の記録がなかったものが見受けられました。整合性を維持管理し、見直しをするためにも必要ですので、是非履行されることを望まれます。

2. 評価領域ごとの特記事項

(かながわ福祉サービス第三者評価推進機構評価結果等公表規程第4条第1項に基づく評価結果)

評価領域ごとの特記事項		
1	人権の尊重	<p>○保育の現場では、子どもが一人ひとり自由に発言できる機会を作っています。保育士は子どもの意見をよく聞き、保護者にも子どもの言い分に耳を傾けるように伝えています。</p> <p>○個人情報保護については、法人としての規程が整備されています。また、園で作成し、全職員が所持している「意見・要望・苦情に関するマニュアル」は内容が豊富で、具体的な例題による解決方法が記述されています。</p> <p>○クラス担任は複数制にして、常に2人以上の保育士が1グループの保育に当たっており、独断的な保育指導や、子どもへの虐待を回避する工夫がなされています。</p>
2	意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービスの提供	<p>○神奈川県初の夜間保育園として平成4年4月に開設された経緯から、保育サービスの時間は午前7時から午後10時までの長時間保育で、土曜日も同一時間帯で園児を受け入れています。一時保育や障害児保育も実施しており、平成20年4月からは0歳児および1歳児の保育も行います。</p> <p>○園外保育には積極的で、近郊に出かけたり、地域の行事に参加して、身体が丈夫で協調性を備えた子どもの育成に努めています。</p> <p>○保護者との交流は盛んで、懇親会、個人面談、保育面談、保育参観、園職員と保護者との一泊旅行など、様々な行事を行っています。これらの機会を利用して、保護者の要望把握に努め、保護者向けのアンケートなども年に複数回実施しています。</p> <p>○保育園向けソフト「園児管理システム」(園の運営に関する総合管理システム)を活用して、2歳児は毎月、3歳以上の園児については年に4回発育評価を行っています。また、一人ひとりの園児については、同システム内の「園児台帳」に記録が整備され、各職員は出勤したらすぐ、園児管理システムをチェックして、その日の保育に関わるスタッフ間の情報共有に努めています。</p>
3	サービスマネジメントシステムの確立	<p>○保育内容は、子どもの発達や状況に応じて作成された指導計画、クラスマニュアルにより、毎月改善を行いながら、地域の特性や保護者の意向を配慮して多様な遊びが取り入れられています。特に、「文字遊び」「英語遊び」「体操遊び」に特徴が見られ、保護者に喜ばれています。</p> <p>○園外活動が数多く取り入れられており、近隣の公園散歩や大型バスを利用したの異年齢交流などにより、園児は自然とのふれあいの中で五感が育てられる多様な経験をいただいています。</p> <p>○食事については食育重視の方針を掲げて、クラス毎に給食指導計画を作成し、「食育活動委員会」を中心に食育活動を行っております。また、毎日の給食では、素材はできるだけ国産にこだわり、より安全な食材調達を図っています。</p> <p>○要望、苦情解決についてはマニュアルを作成、保護者との情報交換や個別相談の機会を数多く作り、保護者満足に努力しております。</p> <p>○サービス内容全般については、「QC活動委員会」(保育サービス向上を検討する委員会)を設け、課題の評価、改善を検討して、保育の質の向上、業務</p>

		<p>改善などの効果が出ております。</p> <p>○各種マニュアルは全て規定されていますが、制定日、改定日及び作成者が記載されていないものが見受けられました。</p>
4	地域との交流・連携	<p>○地域交流事業として子育て支援事業を実施しています。特に、園長発案により発足した子育て支援活動「あーんとあんと」は、民生委員、児童委員と共同で月4回開催され、多くの参加があります。また、近隣交流会を実施しての独居老人の招待、園の行事への参加など活発な活動を行っています。</p> <p>○地域の医療機関、専門機関などとは連携した関係となっており、近隣とは良好な関係が築かれています。</p>
5	運営上の透明性の確保と継続性	<p>○園では必要な情報の収集に努めています。児童福祉法、保育所保育指針、定款、管理規程など、法規類は整備され、常に閲覧できる状態になっています。また、これらに改正などがあった場合には、職員会議などの席上で、全職員に周知されます。</p> <p>○当保育園は「従来と同じ保育園ではない保育園をつくる」という目的で設立され、「子どもの人権と主体性の尊重、社会福祉の増進および地域における家族援助」を保育理念としています。この保育理念を園内に掲示、情報誌やホームページにも掲載して、周知に努めています。</p> <p>○理事長兼園長である経営者は、常に現場の職員と行動をともにして、リーダーシップを発揮しています。職務分担表には具体的な記述があり、各自の仕事の内容は明確になっています。</p> <p>○「園児管理システム」の採用によって、全職員が情報を共有でき、併せて業務効率の向上に役立っています。</p> <p>○園の指導計画(月案、週案、日案など)は保育士により作成されております。内容については、各クラス1名の保育士と主任保育士で構成された「指導計画委員会」で検討されています。</p>
6	職員の資質向上の促進	<p>○研修計画は明文化されています。中・長期計画には「目的意識をもって、職員の知識取得と技術の向上に努めるために研修を行う」と明記されており、年間スケジュールに基づいて各職員が年に数回、職員全体で延べ80回(平成18年度実績)の研修を受講しています。経営者は必要な研修に対しては、費用を惜しむことなく職員を研修に参加させています。</p> <p>○実習生の受入れは学校側の要請に基づいて実施されますが、園ではこれを社会福祉の使命と考えて、積極的に取り組んでおり、園長以下、受入れ担当者やクラス担任が協力して指導に当たります。また、受入れマニュアルも整備されています。</p> <p>○就業規則は全職員がパソコン上で閲覧でき、また、コピーをとることもできます。職務分担表も作成されていて、各職員に配布されています。</p> <p>○園長は年に2～3回、職員との個別面談を実施しております。園の質向上をねらいとして、一人ひとりの職員に合った指導を行い、個人の資質向上や職員の要望把握に努めています。</p>

3. 分類別評価結果

評価領域			設問No.	評価コメント
評価分類				
①人権の尊重	1	利用者の権利保障一般	17, 18	<p>○出席簿の順番、席順、名前の呼び方および接し方や指導の仕方などで男女の分け隔てではなく、男は「くん」女は「ちゃん」という呼び方にはこだわっていない。しかし、5歳児ぐらいになると男女お互いに多少意識するようになるが、これは自然のなりゆきであり、成長の一過程ととらえている。</p> <p>○職員は人権に関する研修に積極的に参加している。また、園が大学教授を招いて保育士および保護者向けに講演を依頼したケースもある。</p> <p>○保育の現場では子どもが一人ひとり自由に発言できる機会を作っている。また、保育士自身も子どもの意見をよく聞くように努め、保護者にも子どもの言い分に耳を傾けるように伝えている。</p>
	2	利用者(とその家族等)のプライバシー	50, 51	<p>○経営母体である徳栄会には、「個人情報保護に対する基本方針」があり、それに基づき「個人情報管理規程」(平成17年4月1日施行)が整備されている。保育士向けには「保護者と話をする時の個人情報の保護」などの具体的な事例がマニュアル化されている。</p> <p>○園内の掲示、入園案内「もんもん保育園—ご利用にあたって」などでも、個人情報保護に対する園の対応に関して、保護者に説明している。</p> <p>○健康診断結果や子どもの個々の記録については、個人情報が外部に漏れることを防止するために、保管上の注意が払われている。</p> <p>○知りえた子どもや家庭に関する秘密保持については、全職員が保持する「意見・要望・苦情に関するマニュアル」(全29ページ)内に「人権やプライバシーへの考慮」という項目をもうけ、具体的な指示を行って、個人情報保護規程の遵守について、誓約書を取り付けている。</p>
	3	(施設職員による)身体拘束、体罰、虐待の防止等	52, 53	<p>○クラスの担任を複数制にしており、常に2人以上の保育士が1グループの保育に当たっていて、保育士が単独で子どもに接する機会がなく、保育士から子どもへの虐待を回避する配慮がなされている。また、園長および主任保育士は、保育の現場から離れることが極力ないようにしており、予防に努めている。</p>

				<ul style="list-style-type: none"> ○家庭内の虐待については神奈川県児童相談所が発行する「子ども虐待防止ハンドブック」が備えられている。また、マニュアルは園独自のものを作成活用している。 ○「(虐待)発見チェックリスト」があり、関係機関、団体や地域住民とは、連絡先の電話番号、担当者および対応可能時間が明記されたリストが整備し、必要に応じた連携を保っている。 ○職員は虐待についての講習を毎年受講しており、報告書は閲覧に供されている。
②意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービスの提供	1	利用者満足の上に向けた取り組み	1	<ul style="list-style-type: none"> ○神奈川県初の夜間保育園として平成4年4月に開設された経緯から、午前7時から午後10時までの長時間保育を行っており、土曜日も平日と同一時間帯で園児を受け入れている。 ○一時保育を実施し、系列の保育園の協力を得て病後児保育も行っている。 ○園外保育には積極的で、近郊に出かけたり地域の行事に参加することも多い。 ○保護者と園との交流は盛んで、懇談会(おしゃべり会)個人面談、保育参観などを定期的に行っている。また、1年に1回保護者向けのアンケートを実施して、要望の把握に努めている。 ○毎月情報誌「Nami no Oto」を発行して、保護者との交流を深めている。
	2	利用者が意見等を述べやすい体制や利用者の意見や思いを汲み取る努力で利用者の意思や可能性を尊重する	2, 3	<ul style="list-style-type: none"> ○保育園の入口には意見箱を設置し、また、保護者用の掲示板を用意しており、保護者の意見を大切にしている。 ○年に1回、家族と職員とで1泊旅行を行って親交を深め、園児のお誕生日には、家族を招いて園でいっしょに夕食をとる機会を設けて、家族からも好評を得ている。 ○登園時および退園時には、担当の保育士は保護者と会話をするように心がけており、常に保護者の意見を汲み取るように努力している。
	3	健やかな成長を促し、発達を保障する等その人らしくいきいきと自立した生活を送れるような支援	6, 7	<ul style="list-style-type: none"> ○保育園向けのソフト「園児管理システム」(園の運営に関する総合管理システム)を活用しており、その中で、2歳児は毎月、3歳以上の園児については年に4回発達評価を行っている。 ○発達心理学専攻の大学教授を招いて、年に1回「気になる子どものケース会議」を開催しており、午前中は保育士および保護者を対象とした講演会、午後は職員対象に子どもとの接し方のアドバイスを実施している。

			<p>○一人ひとりの子どもの記録については「園児管理システム」(園の運営に関する総合管理システム)内の「園児台帳」に園児ごとの記録が整備されており、すべての園児の情報を各職員が把握でき、園全体で共有している。各職員は出勤したらずぐ「園児管理システム」のチェックをして、その日の保育に関わる他のスタッフとの情報共有に努めている。</p>
③サービスマネジメントシステムの確立	1	福祉サービスの標準的及び利用者に応じた個別的提供	<p>9、11、13、19、20、21、22、23、24、25、26、27、28、29</p> <p>○当園は夜間保育園で毎日2食の完全給食を実施している。月別献立表を毎月の情報誌で知らせ、保育室内にも掲示している。毎日2食のメニュー名と栄養価を添えて、サンプルをロビーに展示している。</p> <p>○喫食状況について、2～3歳児は毎日個人ノートに記入連絡、4～5歳児は必要の都度、保護者に連絡している。</p> <p>○アレルギーを持つ子どもについては、医師の診断書を提出してもらい年1回再診している。代替食は見た目が同じような食品を提供し、食器にテープを貼り間違いを防止している。</p> <p>○健康診断は内科、歯科、健診を年2回実施している。検尿、ぎょう虫検査は年1回実施し、独自の事業として乳児健診も毎月実施している。また、結果は個人ごとに管理され、保護者に連絡するとともに保育内容にも反映されている。</p> <p>○保育内容は指導計画の月案、週案、日案、保育士の立場でやるべきことを定めたクラスマニュアルを基に多様な遊びを取り入れている。</p> <p>○2歳児については一人ひとり個人別に配慮され「ケア記録」で管理されている。</p> <p>○指導計画には一人ひとりの子どもを受容するための援助がある。生活習慣や生理現象に関しては例えば、「トイレトレーニング」を行って保護者にノウハウを提供し、今年度は9月には2歳児全員のオムツが取れたという効果が上がっている。</p> <p>○遊びについては、例えば手作りのカスタネットを使った歌やリズム遊びなど、さまざまな表現活動が取り入れられている。3歳児から英語遊び、体操遊びを専任講師で行っており、子ども達も嬉々として取り組み、5歳児ではびっくりするほど上達してきている。</p> <p>○異年齢交流活動は4～5歳児のバス遠足、見学、系列の「苗・もんもん保育園」への毎月1回の</p>

			<p>訪問など活発に行われている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○園外保育は遠足(月1回)、花火大会見物など多様な活動がなされている。 ○近隣の公園への散歩も数多く取り入れられており、そこで交通ルールや団体行動のマナーも遊びと一緒に学んでいる。 ○保育室の壁には、5歳児の集めた食物の皮などを材料に作成した大きな十二支を掲示している。4歳児は湘南の町をパノマラ風にして作った作品を保育室に展示している。階段にも園児の作品が多数掲示されるなど、園児の作品を大切に扱っている。 ○延長保育は夜間保育のため午前7時から11時までとなっており、午前9時30分に朝の会が行われ、子どもに対しては十分な対応がなされている。夜間も一人ひとりの対応が十分できるローテーションで保育士を配置、一人遊びが落ち着いてできるよう配慮している。 ○障害児保育については専門の先生と連携してケアしている。また、保育士6人が研修を受けている。 ○一時保育は月40回前後の利用がある。一時保育室も確保されマニュアルにより対応している。一人ひとりの子どもに合わせて安心して生活できるように配慮している。
--	--	--	---

	2	苦情解決・利用者満足の向上のしくみ	10、14、15、16、35、36、48	<p>○夜間保育園として給食を2回提供していることから、保育目標にも「食育を通して命の大切さを知り丈夫な体をつくる」と掲げている。給食指導計画をクラス別に作成、毎月1回「食育活動委員会」を開催している。一方、給食会議では、検食簿の結果や保育士との意見交換などを基に献立の作成、改善を行い、食育の充実を図っている。素材は出来る限り国産にこだわり、時には園庭で栽培した食物を採り入れた食事も提供している。昼食を2回、園児と共にしたが皆おいしいと喜んでおり、お替わりをする子もみられた。</p> <p>○保育士は市の基準以上に配置、子どもにいつでも応じられる対応をしている。2～3歳児の保育室は元気になるようピンク系、4～5歳児は自覚が芽生えるよう若草色系と配色に配慮している。</p> <p>○3ヶ月に1回、保育環境検討会議を持ち、結果は全職員に周知されている。温湿度、トイレの清掃、布団干し、園庭整備は確認表に記録管理されている。</p> <p>○保育室がやや手狭と思われるが、1階に縁側を設置、2階の一時保育室の有効活用などの工夫をしている。</p> <p>○苦情、要望などの解決については、マニュアルを制定し対処している。第三者委員も定められており、外部機関も含め保護者に情報誌、園内掲示で周知している。要望、意見などの収集も年2回の保護者会、年1回のアンケートなどを実施し、重要課題として積極的に対処している。</p>
--	---	-------------------	----------------------	---

	3	サービス提供の再評価と見直し等サービス管理システム	4、5、47、49	<p>○保育計画は保護者アンケートを基に保護者の意向を取り入れ、地域については行事に積極的に参加するなど保護者と地域に配慮した計画となっている。また、各クラスの保育室に掲示され、保護者にも知らせている。</p> <p>○指導計画も毎月1回、クラス担任1名と主任保育士とで構成された「指導計画委員会」で、発達の状況に応じた評価、改定を行っている。保護者の意向を反映し、5歳児の縄跳び、文字遊びなどを取り入れている。平成20年度には保育計画、指導計画の実践研修(於宮崎)に数名受講予定している。</p> <p>○サービス内容についての評価、改善については、QC活動(保育の質向上活動)を実施している。年4回テーマを定めて職員全体で計画策定、実行、評価、見直しを行い、既に3テーマを実行して効果を挙げている。</p>
	4	危機管理体制の確立と対策としての事故防止対策等マニュアル・規程類の整備	8、12、37、55、56、57	<p>○健康管理についてはマニュアルがあり、病気、感染症、健診、怪我、救急などへ対応している。感染症の情報、対処については、園内に掲示、情報誌で周知されている。</p> <p>○不審者についてもマニュアルがあり、警備会社と連携し、1月に実地訓練も行われている。また、防犯カメラも1台設置され、駐車場の盗難減少の効果も現れている。</p> <p>○事故、防災についてもマニュアルがあり、研修も行われておる。リスクの種類別マニュアルも作成、毎月「リスクマネジメント委員会」で事故防止に向けて取り組んでいる。</p> <p>○衛生管理もマニュアルを整備、厨房、トイレの清掃や手洗いの励行など、点検、チェック表などで運用されている。</p>
④地域との交流・連携	1	地域福祉推進のためのニーズ把握	30	<p>○多様な子育てニーズに対応している。ホームページ、パンフレット、園の看板で告知、市の次世代育成支援行動計画にも参加するなどして子育て支援事業を実施し地域の保育ニーズを把握している。その内容は一時保育、開放保育、民生委員と共同の子育て支援活動「あーんとあんと」の活動などである。</p>

	2	施設機能・ノウハウを地域福祉資源として活用	31	○子育て支援の取り組みについては子育て支援活動「あーんとあんと」の活動が顕著である。7～8年前に園長の発案により民生委員と一緒に活動を開始し、その内容は、親子10組を対象に2時間、毎月4回の中で行われる医療相談や料理レシピの講習などである。その他育児に関する講演会、クリスマス会、運動会、餅つきなどの行事への招待を行っている。
	3	地域住民としての活動やボランティアの活動への場の提供	33	○ボランティア受け入れについては、過去に問題が生じ対応に苦慮したことから、慎重になっていた経緯もあったが、最近では平成19年4月より4ヶ月間、卒園児の母親による読み聞かせのボランティアの受け入れを行っている。
	4	事業の地域展開、専門機能の地域への還元や地域の関係機関と連携	32	○地域の医療機関、専門機関、小学校などの関係機関と連携した体制となっている。 ○小学生との交流や近隣交流会(年2回)の実施などで独居老人の招待などを行っている。行事の際は近所への挨拶などきめ細かな配慮を行い良好な関係が築かれている。
⑤ 運営上の透明性の確保と継続性	1	法令等の遵守	38	○園では必要な情報の収集に努めており、児童福祉法、保育所保育指針、定款および管理規程の他に、社会福祉施設整備事務便覧および社会福祉法人会計基準などが整備され、閲覧できる状態になっている。 ○法令などの改正があった場合は、職員会議などの席上で、園長あるいは事務長より内容を伝え、全職員に周知するようにしている。
	2	理念や基本方針、中・長期計画を策定し職員や利用者へ周知	39、40、41	○当保育園は夜間保育所という目的で設立された。保育理念は「子どもの人権や主体性を尊重して、最善の幸福のために保護者や地域社会と力を合わせ、社会福祉の増進および地域における家族援助を行う」と掲げられている。 ○保育理念および基本方針は「入園のしおり」や毎月発行される「Nami no Oto」及びホームページなどに掲載され、園内にも掲示して、職員、保護者及び関係者に周知している。 ○保育所の中・長期計画は明文化されており、運営、人事、環境、保育サービスおよび研修の各分野にわたって記述されている。その中でも人事について、0歳児および1歳児を受け入れるために、看護師の採用を計画しており、健康管理の強化、地域ネットワークの構築など、時代の流れや多様な子育てニーズを反映したものになって

				いる。
	3	経営者の責任の明確化とリーダーシップ	42、43、44	<p>○理事長兼当保育園の園長である経営者は自らの役割と責任を明らかにしているが、設立当初から一貫して現場主義を貫いており、常に現場の職員と行動をともにして、園児および保護者とは積極的に関わっている。</p> <p>○職務分担表には、園長、主任保育士、保育士(クラス担任および担当者)、栄養士、調理員および事務長の職務分担が明記されている。</p> <p>○平成17年に「園児管理システム」(園の運営に関する総合管理システム)を採用したので、書類の重複がなくなり、全職員が情報を共有できるようになった。併せて業務効率の向上にも寄与している。</p> <p>○経営者は保育の質の向上に意欲的である。保育士を積極的に研修に派遣するなど、保育士の質の向上を目指すとともに、国や市の基準を上回る職員を採用して、きめ細かな保育指導に心がけている。</p>
	4	経営改善や情報開示に積極的な取り組み	46、54	<p>○園の指導計画(月案、週案、日案など)は保育士により作成されている。内容については、各クラス1名の保育士と主任保育士で構成された「指導計画委員会」で検討されている。</p> <p>○近隣との交流を目的として、民生委員、児童委員と共同で実施される子育て支援活動「あーんとあんと」には現在約50人の会員が在籍しており、このサークル活動を通して、地域に信頼を得る努力をしている。</p> <p>○毎月発行される「Nami no Oto」は30ページ以上あり、内容は、各クラスだより、父母の会だより、給食だより、献立表、なでしこクラブ通信などで、盛りだくさんで、充実している。</p> <p>○園内の掲示など、保護者への情報提供については「見出しをつける」「文字を大きくする」「イラストを入れる」など読みやすいように工夫している。</p> <p>○開放保育の参加者には、園のパンフレットを手渡して、園の内容を知ってもらうように努めている。</p> <p>○園児がお芋掘りで掘ったお芋を近隣にプレゼントしたりして交流を深めている。</p>
⑥職員の資質向上の促進	1	研修の基本姿勢の明示、個別研修計画の策定・見直し	58、59	<p>○当保育園では研修計画の目標として「自分なりの一流を目指し、もんもんブランドを確立させる」ことを挙げている。すなわち園長の言葉によれば「保育士一人ひとりが保育士として堂々として、</p>

			<p>責任をもって仕事をする意識を確立すること」を目的としている。</p> <p>○研修計画は明文化されており、中・長期計画には「目的意識をもって、職員の知識取得と技術の向上に努めるために研修を行う」と記されている。</p> <p>○平成19年度研修計画には、園長3回、主任保育士12回、他の保育士にはそれぞれ4回から6回の研修参加が予定されており、栄養士および調理員にも研修計画が立てられている。また、研修場所も平塚市内はもとより、神奈川県内、東京都、遠くは福岡県、宮崎県にも及んでおり、研修に対する意欲が窺われる。</p>
2		<p>人事管理体制の整備、職員の処遇・就業環境への配慮、実習生の受け入れへの配慮</p>	<p>34、60、61</p> <p>○実習生の受け入れは、学校側の要請によるもので、年に6～7名受け入れており、実習期間は10日から20日程度である。短大生が多く、主任保育士が受け入れの担当者となり、職員全員が協力して指導に当たっている。</p> <p>○園では実習生を受け入れることは、社会福祉の使命と考えて積極的に取り組んでおり、マニュアルが整備されている。</p> <p>○就業規則は整備されおり、パソコン内で職員はだれでもいつでも閲覧できる体制となっている。また、職務分担表は各職員に配布されている。</p> <p>○園長は年に2～3回職員と面談しており、また、職員が専門の医師などに相談できる体制も整えられている。</p> <p>○経営者である園長は、職員と個別に面談を行う他に、職員向けのアンケートを実施して、要望の把握に努めている。</p>

4. 評価結果一覧

評価項目に対する評価は、Aを最良とする「A」「B」「C」の3段階で行い、評価対象の事業所が設問に該当しない場合の「D(対象外)」を加え、園による自己評価と評価機関による評価とを対比しております。

No.	評価項目	評価機関による評価	園による自己評価
1	保護者の満足度に関心を持っているか。(情報提供・保護者の意見の反映)	A	A
2	保護者が意見を述べやすい環境を作っているか。(情報提供・保護者の意見の反映)	A	A
3	保育されている子どもの意思・思いを常に汲み取るよう職員を指導しているか。(情報提供・保護者の意見の反映)	A	A
4	保育計画が保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されているか。(発達援助の基本)	A	A
5	子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。(発達援助の基本)	A	A
6	一人ひとりの発達状況、保育目標、保育の実際について話し合うための会議を定期的かつ必要に応じて開催しているか。(発達援助の基本)	A	A
7	一人ひとりの子どもの発達状況、保育目標、生活状況についての記録があり、それぞれの子どもに関係する全職員に周知されているか。(発達援助の基本)	A	A
8	保育中の子どもの健康管理についてはマニュアル等があり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。また、マニュアルの定期的見直しが行われているか。(健康管理・食事)	A	A
9	日々の献立を保護者に示すとともに、必要に応じて、子どもの喫食状態を保護者に知らせているか。(健康管理・食事)	A	A
10	食事を楽しむことが出来る工夫をしているか。(健康管理・食事)	A	A
11	専門医から指示があった場合において、アレルギー疾患を持つ子どもの状況に応じて適切な対応を行っているか。(健康管理・食事)	A	A
12	感染症への対応についてはマニュアルがあり、発生に際してはその状況を必要に応じて保護者に連絡しているか。また、マニュアルは定期的に見直されているか。(健康管理・食事)	A	A
13	健康診断の結果について保護者や職員に伝達しそれを保育に反映しているか。(健康管理・食事)	A	A
14	生活の場に相応しい環境を作る取り組みを行っているか。(保育環境)	A	A
15	子どもが心地良く過ごすことが出来る環境を整備しているか。(保育環境)	A	A
16	健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出せる環境が整備されているか。(保育環境)	A	A
17	性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。(保育内容)	A	A
18	子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮しているか。(保育内容)	A	A
19	子ども一人ひとりへの理解を含め、受容しようと努めているか。(保育内容)	A	A
20	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応しているか。(保育内容)	A	A

No.	評価項目	評価機関による評価	園による自己評価
21	さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されているか。(保育内容)	A	A
22	言葉を使って表現する意欲や態度を育てるように配慮されているか。(保育内容)	A	A
23	遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮しているか。(保育内容)	A	A
24	身近な自然や社会と関われるような取り組みがされているか。(保育内容)	A	A
25	子どもが自発的に活動できる環境が整備されているか。(保育内容)	A	A
26	延長保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られるか。(保育内容)	A	A
27	乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られるか。(保育内容)	D (対象外)	D (対象外)
28	障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られるか。(保育内容)	A	A
29	一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っているか。(地域の子育て支援)	A	A
30	多様な子育てニーズを把握するための取り組みを行い、それを事業に反映しているか。(多様な子育てニーズへの対応)	A	A
31	育児相談等地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取り組みを行っているか。(地域の子育て支援)	A	A
32	保育所は関係機関と連携しているか。(地域の住民や関係機関・団体との連携)	A	A
33	ボランティアを受け入れるに当たっては、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、受け入れの担当者も決められているか。(実習・ボランティア)	A	A
34	実習生を受け入れるに当たっては、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、実習担当者も決められているか。(実習・ボランティア)	A	A
35	保護者からの要望・苦情を迅速に対応できる仕組みになっているか。(情報提供・保護者の意見の反映)	A	A
36	保育所に苦情対応の窓口を設置し、利用者等からの苦情への適切な解決に努める義務を負い、それを担保する仕組みを創り上げているか。(情報提供・保護者の意見の反映)	A	A
37	外部からの不審者に対する対応策が取られているか。(情報提供・保護者の意見の反映)	A	A
38	保育所の関係法令の遵守に取り組んでいるか。(基本方針)	A	A
39	保育所の保育理念や基本方針が明文化され、全職員にどのようにして徹底されているか。(基本方針)	A	A
40	保育所の中・長期計画に、児童福祉等時代の流れやニーズを取り入れているか。(基本方針)	A	A
41	保育理念や基本方針を保護者、関係者に周知徹底するための取り組みを行っているか。(基本方針)	A	A
42	経営者自らの役割と責任を職員に対して表明しているか。(組織運営)	A	A
43	経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮しているか。(組織	A	A

No.	評価項目	評価機関 による評価	園による 自己評価
	運営)		
44	質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮しているか。(組織運営)	A	A
45	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備しているか。(組織運営)	A	A
46	職員に具体的行動目標を立案させ、定期的に進捗状況をレビューさせ、課題を明確にさせて、是正処置を取る仕組みを構築して地域の信頼を得る努力をしているか。(組織運営)	A	A
47	保育内容について職員参加により定期的に達成度を評価し、その結果に基づき組織として取り組むべき新しい課題を明確にしているか。(組織運営)	A	A
48	保護者からの意見等に対する対応マニュアルを整備し、迅速に対応しているか。また、マニュアルは定期的に見直されているか。(情報提供・保護者の意見)	A	A
49	保育の質の向上や改善のために職員参加により、課題に対する改善策・改善計画を立て実施しているか。(組織運営)	A	A
50	個人情報取り扱い義務を規程やマニュアルで整備し、職員に周知徹底しているか。また、マニュアルは定期的に見直されているか。(守秘義務の遵守)	A	A
51	守秘義務の遵守を職員に周知徹底しているか。(守秘義務の遵守)	A	A
52	施設職員から虐待を受けていると思われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに園長まで届く体制になっているか。(入所児童の保護者の育児支援)	A	A
53	家庭内で虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所等の関係機関に照会、通告を行う体制が整っているか。(入所児童の保護者の育児支援)	A	A
54	情報提供に当たってわかりやすく伝える工夫や配慮を行っているか。(情報提供・保護者の意見の反映)	A	A
55	事故や災害に適切に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知徹底されているか。また、マニュアルは定期的に見直しが行われているか。(安全・衛生管理)	A	A
56	事故防止に向けた具体的な取り組みを行っているか。(安全・衛生管理)	A	A
57	調理場、水周り等の衛生管理はマニュアルに基づき適切に実施されており、マニュアルは定期的に見直しが行われているか。(安全・衛生管理)	A	A
58	保育所の基本方針の中に研修に対する基本姿勢が明示され、全職員に徹底されているか。(基本方針)	A	A
59	個別の職員の研修ニーズを把握し、適切な研修計画を策定し、研修機会を確保実施し、必要に応じて見直しているか。	A	A
60	就業規則を全職員に徹底し、権限責任を明確にし、人事管理体制を整備し安心して勤務できるようにしているか。(組織運営)	A	A
61	保育園の経営者は職員の処遇・就業環境について常に配慮しているか。	A	A

5. 観察方式による利用者本人調査

(1) 調査実施概要

第1日目(平成20年2月5日火曜日)			
第2日目(平成20年2月6日水曜日)			
対象クラス	日時	調査場面	備考
2歳児クラス	第2日目 10:00～11:20	園外保育	近所の公園に同行
3歳児クラス	第1日目 10:00～10:30	英語遊び	
	第2日目 9:45～10:00	体操遊び	
2歳児クラス & 3歳児クラス	第2日目 9:30～ 9:45	朝の会	園児と給食 園児と給食
	第2日目 11:30～12:00	昼食	
	第2日目 15:30～16:00	おやつ	
	第2日目 17:30～17:45	帰りの会	
4歳児クラス	第1日目 10:30～11:00	英語遊び	園児と給食
	第1日目 11:45～12:30	昼食	
5歳児クラス	第1日目 11:45～12:30	昼食	園児と給食
	第1日目 13:00～13:30	聞き取り調査	保育士同席
	第2日目 11:20～11:30	体操遊び	

(2) 観察調査

観察対象:園全体の在籍数:68名(一時保育児を含む)	
2歳児クラス:17名、3歳児クラス:16名、4歳児クラス:20名、5歳児クラス:15名	
2歳児 クラス	<p>【園外保育】</p> <p>2日目の午前10時に、2歳児クラスは園から約500メートル離れた公園で園外保育を行いました。</p> <p>当日は朝雪がちらつく寒い日でしたが、園児たちは元気に公園まで歩きます。</p> <p>出発前に人数確認のため、担任の保育士が2歳児全員の名前を、携帯型の出席簿を使って呼び、園児は一人ひとり元気に返事をしました。</p> <p>2歳児クラス18人(一時保育児を含む)は、10人と8人との2グループに分けられ、10人のグループには保育士3人、8人のグループには保育士2人が付き添って、園を出発します。</p> <p>道路を横断するときには、右側、左側そして右側と、注意深く確認して、片手を上げて渡ります。途中で近所の人に出会うと挨拶を交わしたりして、10分あまりで公園に着きました。</p> <p>保育士は園児たちを集めて、まず公園での遊びについて注意事項を話します。そして準備体操をしてから、その後は自由遊びやマラソン遊びをしました。</p> <p>最後に公園のすべり台から、一人ひとり滑って着地、その間保育士は注意深く見守り、必要なときには手を貸します。</p> <p>公園から園に帰る前にも、一人ひとりの園児の名前を呼んで人数を確認します。再び2グループに別れ、車の往来などに気をつけながら園に戻りました。</p>

<p>3歳児 クラス</p>	<p>【英語遊び】 1日目の午前10時から10時30分までの30分間、3歳児クラスの「英語遊び」の時間を観察調査しました。 3歳児15人が揃った保育室にアメリカ人の女性の先生が入室して、早速英語だけを使ってレッスンが始まります。 「ABCDEFGG・・・」とアルファベットの発音練習から始めて、英語の歌、カードを使っての色(カラー)の説明や、簡単な単語の練習などをします。 その後、色鉛筆と画用紙が各自に配られて、ぬりえの時間になります。先生がネコは何色、家は何色と決めても、ほとんどの園児は勝手な色を塗っており、7色に塗られたネコが出来上がったりします。先生は無理にこれを直すようなことはなく、園児の自主性を認めており、無邪気でのびのびとした英語遊びの時間が続きます。</p> <p>【体操遊び】 2日目の午前9時45分から10時までの間、3歳児クラスの体操遊びを観察しました。今日の先生は体育の指導者を派遣する団体に所属する若い男性の先生です。 まず園児たちと挨拶を交わし、柔軟体操などの準備運動をしてから、マット遊びをしました。 先生は週に一度しか来園しませんが、園児の名前をよく覚えており、名前を呼んで、親しく指導しています。園児たちも園の保育士に接する時と同じように、先生とは仲良しで、楽しい体操遊びが続きしました。</p>
<p>4歳児 クラス</p>	<p>【英語遊び】 1日目の10時30分から11時までの30分間、英語の先生は4歳児クラス16人を対象に2階の保育室でレッスンをします。4歳児クラスと言っても大半が5歳の誕生日を迎えています。 3歳児クラスとは違って、園児が順番に前に出て自己紹介をします。 「マイネーム イズ ×××× アイム ファイブ」と元気よく名前と年齢を言います。中にはおずおずとした子どもや、はずかしがり屋の園児もいますが、先生はやさしく助けてくれます。 自己紹介の後には英語の歌の練習や、ぬりえなどをします。3歳児クラスと違って、4歳児クラスの園児は、先生が言ったとおりの色(カラー)を使っており、成長ぶりが窺われました。</p>
<p>5歳児 クラス</p>	<p>【体操遊び】 2日目の11時20分ごろから10分ぐらいの短時間でしたが、5歳児の体操遊びの一部を観察しました。先生は3歳児クラスと同じ先生で、当日は3歳児クラス、4歳児クラス、5歳児クラスと順番に午前中いっぱい、年齢に応じた体操遊びを指導します。 5歳児クラスはマットを使った授業ですが、種目は飛び込み前転などで、この年齢になると大分高度な技量の子どももあり、また個人差も開いてきます。先生はどの子どもにも分け隔てなく接しており、その子どもの能力に見合った指導をしていました。</p>
<p>2歳児 クラス & 3歳児 クラス</p>	<p>【朝の会】 午前9時過ぎにまでには、ほとんどの園児が登園するために、9時30分からクラスごとに「朝の会」を始めます。 2歳児および3歳児はクラスごとに保育士の周りに集まります。保育士は朝の挨拶から初めて、今日一日の流れを説明します。また休んでいる仲間の子どものいるときには、その子どもの欠席の理由などを説明します。 その後別の保育士がひく電子ピアノに合わせて歌を歌ったりして、朝の会は終了します。9時45分ごろからは、3歳児クラスは体操遊び、2歳児クラスは園外活動の準備をします。</p>

<p>(続き)</p>	<p>【昼食】</p> <p>2歳児クラスおよび3歳児クラスは、11時30分になると1階の保育室で昼食の時間になり、それぞれのグループがテーブルを囲んで、席につきます。</p> <p>2歳児クラスの子どもは、この頃にはほとんどが3歳の誕生日を迎えており、箸も使えるようになって上手に食べます。1～2割の子どもはまだフォークを使いますが、皆仲良く食事をします。</p> <p>2日目の今日の献立は、ご飯、みそ汁、えのき入りつくね、ひじきのサラダで、ごはんやおかずは、2歳児も3～5歳児クラスと同じものですが、残す子どもは少なく、きれいに食べます。</p> <p>隣のテーブルでは、3歳児クラスの子どもたちがにぎやかに食事をしています。大変活発な子どもたちで、2歳児クラスより早めに食事を済まし、同席した調査員とは友だちのようになって、遊んだり、ふざけたりしていました。</p> <p>食事とデザートの後には、歯磨きをしたり、トイレに行ったり、パジャマに着替えたりしてから、お昼寝の時間で、静かなひと時を過ごします。</p> <p>【おやつ】</p> <p>午後3時30分にはお昼寝の時間は終了し、しばらくしてからおやつの時間となります。2日目の今日は1階の保育室に大きなホットプレートを2台置いて、保育士が目の前で作るポップコーンと、これも手作りのパウンドケーキがおやつです。</p> <p>ポップコーンがボンボンとホットプレートの中ではねて、香ばしいにおいが部屋にいっぱいになります。子どもたちはできたてのポップコーンをおかわりし、その後のパウンドケーキを食べておやつ時間は終了します。</p> <p>調査員2名も2歳児クラスおよび3歳児クラスのグループの中にそれぞれ入って、いっしょにおやつをいただきました。</p> <p>【帰りの会】</p> <p>ローテーションの勤務等で早めに仕事を終えた保護者は園児を迎えに来ますが、午後7時30分から8時過ぎがお迎えのピークです。従って、午後5時30分ごろ「帰りの会」を開いて、その後は夕食の時間となります。</p> <p>「帰りの会」も「朝の会」と同様、クラスごとに園児たちは保育士の周りに集まります。保育士と園児たちとは、今日一日を振り返って、楽しかったことや、印象に残ったこと等を話し合います。そして明日につながる話もします。その後は電子ピアノに合わせて歌を歌ったりして、一日の締めくくりとします。</p> <p>夕食後は2～3歳児クラスは合同保育、4～5歳児クラスは自由遊びの時間となり、午後8時を過ぎると、4～5歳児のクラスの園児も1階の保育室に降りてきて、合同保育となります。</p>
<p>4歳児 クラス & 5歳児 クラス</p>	<p>【昼食】</p> <p>4歳児と5歳児クラスの昼食は、2、3歳児クラスよりやや遅れて11時45分ごろから始まります。</p> <p>1日目に4歳児と5歳児の各グループに調査員2名がそれぞれ入って、昼食を共にしました。今日の献立は、ごはん、みそ汁、がんもどきの煮物、小松菜とじゃこのサラダです。</p> <p>それぞれの席についてグループごとに食事が始まります。園児たちは好き嫌いなく、きれいに食べており、お代わりをする子どももいます。</p> <p>お互いにおしゃべりが始まりにぎやかです。</p> <p>5歳児の話題はなんと言っても、4月に入学する小学校の話です。</p> <p>ほとんどが地元の小学校に入学しますが、学校はそれぞれ別々で、同じ学校に行く子どもは少ないようです。中には遠くの小学校に入学予定の園児もあり、「××ちゃんは××の小学校に行くんだ</p>

(続き)	<p>よ」などと、友だちの入学先の話に花が咲きます。</p> <p>また祖父母などから買ってもらうランドセルについても話題になりました。</p> <p>昼食の後にデザートをいただいて、お昼の時間は終わりになり、歯磨きやトイレなどを済ませてから、パジャマに着替えて4歳児クラス以下はお昼寝の時間になります。</p>
<p>【観察調査のまとめ】</p> <p>2日間各クラスの観察調査をしましたが、午前7時から午後10時までの長時間にわたり、内容の充実した、園児を飽きさせない保育内容を園が心がけていることが理解されました。</p> <p>「英語遊び」と「体操遊び」は、保護者の要望を受け入れて実現したものであり、利用者満足への努力が窺えました。また、園外保育では、18人の園児に通常4人の保育士が付き添い、その間に3回も人数の確認を行うなど、安全や安心に対する姿勢や、保育士たちの細かな心遣いが感じられました。</p>	

(3)聞き取り調査

<p>調査日時：平成20年2月5日(火曜日)午後1時から1時30分</p> <p>調査対象：5歳児クラス 14名 (保育士2名同席)</p> <p>場 所：一時保育室</p>
<p>【遊びについて】</p> <p>保育園での遊びの種類については「縄跳び、おにごっこ、公園あそび、ボール投げ、ぬりえ、パズル、ブロック」などと園児たちは答えていました。</p> <p>好きな遊びについては、女子はぬりえやパズルなど、どちらかと言えば室内遊びが好きだと答えています。男子は好きな遊びはサッカーと答える子どもが多く、この年齢になると男女の好みに少しずつ違いが出てきます。</p> <p>【食事について】</p> <p>保育園の食事については、どの子どもも「楽しみであり、おいしい」と答えています。おかわりは自由にできて、食べられないときは残してもよいそうです。</p> <p>好きな食べ物は、シチューとかカレーなど、洋食が好きだと口々に答えています。中には「酢の物」などと答える、しぶい好みの子どももいます。</p> <p>【清潔・健康について】</p> <p>食事の前には手を洗い、食後には歯磨きをします。汗をかいたり、どろんこで体を汚したりしたときには、温水のシャワーをかけたりして、保育士が一人ひとりをきれいにしてくれると答えています。園児は登園時に着替えを持参しており、必要な場合には着替えもします。</p> <p>熱が出たときや、具合の悪いときは、ふとんを敷いて静かに休ませてくれるとのこと。けがをしたときには、先生は応急手当をしてくれるそうです。</p> <p>なおトイレには行きたいときに自由に行けるとのことでした。</p> <p>【権利について】</p> <p>友だちとは、たまにけんかをするときがありますが、先生は友だちとよく話し合い、自分たちで解決しなさいと言っているようです。なかなかけんかが終わらないときには、先生は両方の話の内容をよく聞いて、お互いが納得ゆくように仲裁してくれるそうです。</p> <p>お昼寝について、できるだけ寝るように先生は言いますが、寝たくないときには、起きて絵本を見たり、ぬりえをしたり、お絵かき、パズルなどをしてよいそうです。なお5歳児クラスは、現在小学校入学の準備段階でもあり、この時期にはお昼寝の時間をとりません。</p> <p>園児の呼称については、先生は「××ちゃん、××くん」と呼んだり、また、呼びなれた名前や、自分の好きな呼び方で呼んでくれているそうです。</p>

【職員について】

「先生はやさしい」という子どもが多いが、たまに「こわい」時もあると、園児は語っています。また、担任の先生でなくても、声かけをしてくれると答えています。

園長先生は毎日園児と遊んだり、お話をしたりして、園児の中に入って気さくに接してくれるとのことでした。

【聞き取り調査のまとめ】

以上、約30分の間、5歳児クラスの園児から聞き取り調査をしましたが、どの園児も活発に話してくれ、ひとりだけが特に話をすとか、全く話をしないという子どもはいませんでした。

みな打ち解けて話をしており、クラスの子どもたちが仲良くしていることが感じられました。また、どう答えていいか、園児にわかりにくいときには、同席した保育士が、意味をかみ砕いて説明しており、園児も内容がよく分かった上で答えてくれました。

さらに園児たちの話の内容から、園では子どもたちの自主性を尊重し、これを伸ばそうとしていることが感じ取られました。

6. 利用者アンケート調査結果

(1) アンケート調査の実施概要																			
調査実施方法	12月7日、保護者会の席において、保育園から説明資料をもとに、第三者評価の意義・目的と併せてアンケートについて説明をしてもらいました。 12月14日、保育園から当評価機関所定の様式を依頼文とともに保護者に手渡し、無記名で記入した回答は12月25日を締め切り日として、所定の封筒に入れて直接当評価機関に郵送してもらいました。																		
調査対象	全園児の保護者を対象に行いました。ただし、2人以上の子どもが利用している場合には下の子どもについて回答してもらいました。 園児68名(一時保育児含む)、配布数63通																		
有効回答数	55通																		
有効回収率 (回答数/配布数)	全体:87.3%(55/63) 2歳児:88.2%(15/17)、3歳児:73.3%(11/15)、 4歳児:90.0%(18/20)、5歳児:100.0%(11/11)																		
(2) アンケート調査の結果概略																			
<p>アンケートの回収率が87.3%の高率になっており、保護者が園の運営に強く関心を持っていることが裏付けられています。他の園の状況を、神奈川県推進機構のホームページから調べますと60%程度であり、他の園に比べ特に保護者の関心が高いことが窺えます。</p> <p>アンケート回答者の分布を下図に示しましたように、各年齢クラス間の回収率に極端な差が見られないことから、今回のアンケートにより得られた結果は、各年齢に共通した保護者の意見と考えております。</p>																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>クラス</th> <th>2歳児</th> <th>3歳児</th> <th>4歳児</th> <th>5歳児</th> <th>提出合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回答数(人)</td> <td>15</td> <td>11</td> <td>18</td> <td>11</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>回収率(%)</td> <td>88.2</td> <td>73.3</td> <td>90.0</td> <td>100.0</td> <td>87.3</td> </tr> </tbody> </table>		クラス	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	提出合計	回答数(人)	15	11	18	11	55	回収率(%)	88.2	73.3	90.0	100.0	87.3
クラス	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	提出合計														
回答数(人)	15	11	18	11	55														
回収率(%)	88.2	73.3	90.0	100.0	87.3														
<table border="1"> <caption>回答数と回収率</caption> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>回答数(人)</th> <th>回収率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2歳児</td> <td>15</td> <td>88.2</td> </tr> <tr> <td>3歳児</td> <td>11</td> <td>73.3</td> </tr> <tr> <td>4歳児</td> <td>18</td> <td>90.0</td> </tr> <tr> <td>5歳児</td> <td>11</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>		年齢	回答数(人)	回収率(%)	2歳児	15	88.2	3歳児	11	73.3	4歳児	18	90.0	5歳児	11	100.0			
年齢	回答数(人)	回収率(%)																	
2歳児	15	88.2																	
3歳児	11	73.3																	
4歳児	18	90.0																	
5歳児	11	100.0																	
<p>今回実施したアンケート調査結果を種々の側面から分析しますと、現在の園にほとんどの保護者が満足されています。しかし、一部の保護者は更なるサービス向上を要望していることもわかります。</p> <p>(3) 項、問7「職員の対応」中で、「アレルギー・障害への配慮」の質問に対して、「その他」に回答された保護者が多く、他の質問での「その他」と比べてもいちばん件数が多くなっております。これは、「現在通園している自分の子供はアレルギー体質ではない」との理由で、満足・不満足の意向を表せないため、この項目に回答したためです。</p> <p>(5) 項に示すアンケート結果(問別の満足率比較)で、グラフでは「快適さや安全対策」が、やや低い満足率を示しています。これは「施設設備」の問に対し、「人数のわりに園庭が狭い」と感じている保護者がいるからです。</p> <p>今回のアンケートの結果を総合的に判断しますと、最終質問の「総合満足度」(問8)からもわかりますように、調査対象の保護者全員が満足されていることがわかります。</p> <p>また、当保育園は、QC活動委員会(保育サービス向上を検討する委員会)を設け、全職員が参加して活発に実行を継続されています。今後も引き続き、今回得られたアンケート結果から更なる目標をお探しになり、QC活動(保育の質向上活動)に取り組まれることを期待しております。</p>																			

(3) アンケートの回答集計

【基本理念・基本方針】

問1 保育目標・保育方針

	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. よく知っている	5	5	9	4	23
2. まあ知っている	9	6	9	7	31
3. どちらともいえない	0	0	0	0	0
4. あまり知らない	1	0	0	0	1
5. 全く知らない	0	0	0	0	0

付問1 賛同できるか

	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. 賛同できる	13	10	16	10	49
2. まあ賛同できる	1	1	2	1	5
3. どちらともいえない	0	0	0	0	0
4. あまり賛同できない	0	0	0	0	0
5. 賛同できない	0	0	0	0	0

【サービス内容の満足度】

問2 入園時の状況

見学の受け入れ

	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. 満足	13	9	15	7	44
2. どちらといえば満足	2	2	2	3	9
3. どちらといえば不満	0	0	1	1	2
4. 不満	0	0	0	0	0
5. その他	0	0	0	0	0

園からの情報提供

	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. 満足	11	10	11	5	37
2. どちらといえば満足	4	1	7	6	18
3. どちらといえば不満	0	0	0	0	0
4. 不満	0	0	0	0	0
5. その他	0	0	0	0	0

目標・方針の説明

	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. 満足	8	9	11	5	33
2. どちらといえば満足	6	2	7	5	20
3. どちらといえば不満	1	0	0	1	2
4. 不満	0	0	0	0	0
5. その他	0	0	0	0	0

生育歴などを聞く対応

	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. 満足	12	9	13	6	40
2. どちらといえば満足	3	2	5	5	15
3. どちらといえば不満	0	0	0	0	0
4. 不満	0	0	0	0	0
5. その他	0	0	0	0	0

1日の過ごし方の説明	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. 満足	11	8	12	4	35
2. どちらといえば満足	4	3	6	6	19
3. どちらといえば不満	0	0	0	1	1
4. 不満	0	0	0	0	0
5. その他	0	0	0	0	0

費用・きまりの説明	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. 満足	9	6	13	5	33
2. どちらといえば満足	6	4	4	3	17
3. どちらといえば不満	0	1	1	3	5
4. 不満	0	0	0	0	0
5. その他	0	0	0	0	0

問3 保育・行事の年間計画

年間の保育・行事の説明	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. 満足	8	8	7	7	30
2. どちらといえば満足	7	3	10	4	24
3. どちらといえば不満	0	0	0	0	0
4. 不満	0	0	0	0	0
5. その他	0	0	1	0	1

保護者の要望の活用	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. 満足	10	5	10	6	31
2. どちらといえば満足	4	5	7	5	21
3. どちらといえば不満	1	0	0	0	1
4. 不満	0	0	0	0	0
5. その他	0	1	1	0	2

問4 日常の保育内容 「遊び」について

クラスの活動・遊び	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. 満足	11	8	13	6	38
2. どちらといえば満足	3	3	5	5	16
3. どちらといえば不満	0	0	0	0	0
4. 不満	0	0	0	0	0
5. その他	1	0	0	0	1

戸外遊び	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. 満足	11	10	15	5	41
2. どちらといえば満足	3	0	2	5	10
3. どちらといえば不満	0	1	1	1	3
4. 不満	1	0	0	0	1
5. その他	0	0	0	0	0

おもちゃ・教材	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. 満足	10	8	11	5	34
2. どちらといえば満足	2	2	6	6	16
3. どちらといえば不満	2	0	1	0	3
4. 不満	0	0	0	0	0
5. その他	1	1	0	0	2

園外活動	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. 満足	13	11	16	9	49
2. どちらといえば満足	2	0	2	2	6
3. どちらといえば不満	0	0	0	0	0
4. 不満	0	0	0	0	0
5. その他	0	0	0	0	0

友達や保育者との関わり	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. 満足	14	7	13	6	40
2. どちらといえば満足	1	4	5	4	14
3. どちらといえば不満	0	0	0	0	0
4. 不満	0	0	0	0	0
5. その他	0	0	0	1	1

健康づくりの取り組み	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. 満足	12	5	11	6	34
2. どちらといえば満足	3	6	7	5	21
3. どちらといえば不満	0	0	0	0	0
4. 不満	0	0	0	0	0
5. その他	0	0	0	0	0

「生活」について

給食の献立内容	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. 満足	10	7	14	7	38
2. どちらといえば満足	4	4	4	3	15
3. どちらといえば不満	0	0	0	1	1
4. 不満	1	0	0	0	1
5. その他	0	0	0	0	0

給食を楽しむ	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. 満足	13	7	13	8	41
2. どちらといえば満足	1	4	4	3	12
3. どちらといえば不満	0	0	1	0	1
4. 不満	0	0	0	0	0
5. その他	1	0	0	0	1

自立の取り組み	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. 満足	14	9	12	5	40
2. どちらといえば満足	1	2	4	6	13
3. どちらといえば不満	0	0	1	0	1
4. 不満	0	0	0	0	0
5. その他	0	0	1	0	1

昼寝や休憩の対応	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. 満足	12	9	10	5	36
2. どちらといえば満足	3	1	6	5	15
3. どちらといえば不満	0	0	2	1	3
4. 不満	0	0	0	0	0
5. その他	0	1	0	0	1

おむつはずし	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. 満足	14	9	8	7	38
2. どちらといえば満足	1	1	6	4	12
3. どちらといえば不満	0	1	2	0	3
4. 不満	0	0	0	0	0
5. その他	0	0	2	0	2

体調への気配り	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. 満足	11	5	14	7	37
2. どちらといえば満足	4	5	2	4	15
3. どちらといえば不満	0	1	0	0	1
4. 不満	0	0	0	0	0
5. その他	0	0	2	0	2

ケガの説明	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. 満足	12	6	14	7	39
2. どちらといえば満足	3	3	3	4	13
3. どちらといえば不満	0	2	0	0	2
4. 不満	0	0	0	0	0
5. その他	0	0	1	0	1

問5 快適さや安全対策
施設設備

	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. 満足	4	2	4	4	14
2. どちらといえば満足	6	6	11	3	26
3. どちらといえば不満	3	3	3	4	13
4. 不満	1	0	0	0	1
5. その他	1	0	0	0	1

雰囲気	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. 満足	6	4	7	5	22
2. どちらといえば満足	5	6	7	4	22
3. どちらといえば不満	2	1	4	1	8
4. 不満	1	0	0	0	1
5. その他	1	0	0	1	2

不審者侵入の防止	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. 満足	6	4	8	3	21
2. どちらといえば満足	9	7	7	8	31
3. どちらといえば不満	0	0	2	0	2
4. 不満	0	0	1	0	1
5. その他	0	0	0	0	0

感染症の情報提供	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. 満足	4	5	11	5	25
2. どちらといえば満足	10	6	7	5	28
3. どちらといえば不満	1	0	0	1	2
4. 不満	0	0	0	0	0
5. その他	0	0	0	0	0

問6 保護者との連携・交流

話し合いの機会

	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. 満足	8	6	12	7	33
2. どちらといえば満足	7	5	6	4	22
3. どちらといえば不満	0	0	0	0	0
4. 不満	0	0	0	0	0
5. その他	0	0	0	0	0

行事等の情報提供

	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. 満足	11	9	16	7	43
2. どちらといえば満足	3	2	2	4	11
3. どちらといえば不満	1	0	0	0	1
4. 不満	0	0	0	0	0
5. その他	0	0	0	0	0

行事開催日等の配慮

	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. 満足	14	5	13	5	37
2. どちらといえば満足	1	6	4	6	17
3. どちらといえば不満	0	0	1	0	1
4. 不満	0	0	0	0	0
5. その他	0	0	0	0	0

送迎時の情報交換

	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. 満足	13	4	13	6	36
2. どちらといえば満足	1	7	4	5	17
3. どちらといえば不満	0	0	1	0	1
4. 不満	0	0	0	0	0
5. その他	1	0	0	0	1

重要情報の連絡体制

	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. 満足	11	7	12	6	36
2. どちらといえば満足	4	4	4	4	16
3. どちらといえば不満	0	0	2	1	3
4. 不満	0	0	0	0	0
5. その他	0	0	0	0	0

相談事への対応

	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. 満足	12	11	14	8	45
2. どちらといえば満足	3	0	3	3	9
3. どちらといえば不満	0	0	0	0	0
4. 不満	0	0	0	0	0
5. その他	0	0	1	0	1

迎え遅れへの対応

	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. 満足	15	11	16	7	49
2. どちらといえば満足	0	0	2	4	6
3. どちらといえば不満	0	0	0	0	0
4. 不満	0	0	0	0	0
5. その他	0	0	0	0	0

問7 職員の対応

大切にされているか

	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. 満足	14	10	15	8	47
2. どちらといえば満足	1	0	1	3	5
3. どちらといえば不満	0	0	0	0	0
4. 不満	0	0	0	0	0
5. その他	0	1	2	0	3

保育園生活を楽しむ

	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. 満足	12	10	16	9	47
2. どちらといえば満足	2	1	2	2	7
3. どちらといえば不満	1	0	0	0	1
4. 不満	0	0	0	0	0
5. その他	0	0	0	0	0

アレルギー・障害への配慮

	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. 満足	4	5	8	7	24
2. どちらといえば満足	5	6	7	2	20
3. どちらといえば不満	0	0	0	0	0
4. 不満	1	0	0	0	1
5. その他	5	0	3	2	10

話しやすい雰囲気・態度

	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. 満足	14	10	15	8	47
2. どちらといえば満足	1	1	2	2	6
3. どちらといえば不満	0	0	0	1	1
4. 不満	0	0	0	0	0
5. その他	0	0	1	0	1

意見・要望への対応

	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. 満足	10	10	14	6	40
2. どちらといえば満足	5	1	3	4	13
3. どちらといえば不満	0	0	1	1	2
4. 不満	0	0	0	0	0
5. その他	0	0	0	0	0

問8 総合的な評価

総合満足度

	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1. 満足	14	10	16	7	47
2. どちらといえば満足	1	1	2	4	8
3. どちらといえば不満	0	0	0	0	0
4. 不満	0	0	0	0	0

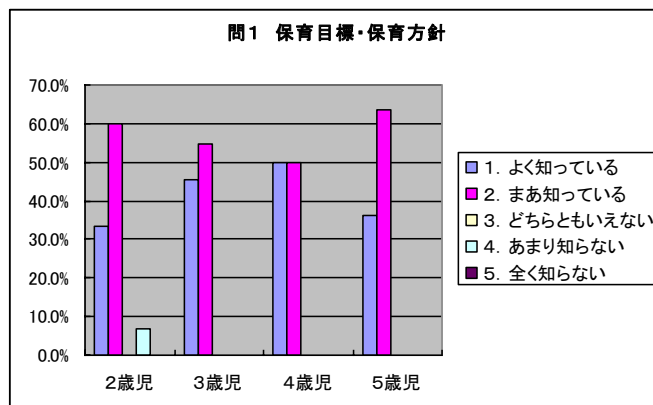
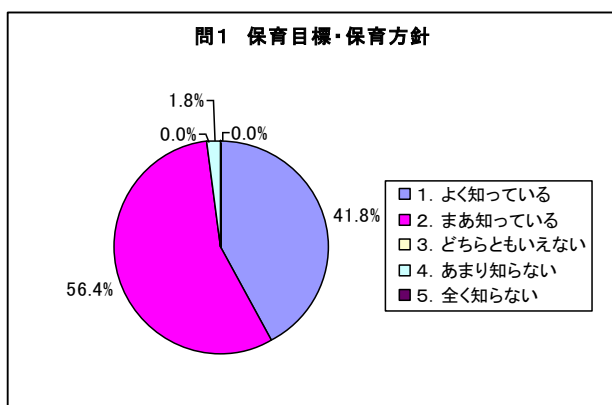
(4) アンケート結果(問別の回答分布)

【基本理念・基本方針】

問1 保育目標・保育方針

	計	%
1. よく知っている	23	41.8%
2. まあ知っている	31	56.4%
3. どちらともいえない	0	0.0%
4. あまり知らない	1	1.8%
5. 全く知らない	0	0.0%
総数	55	

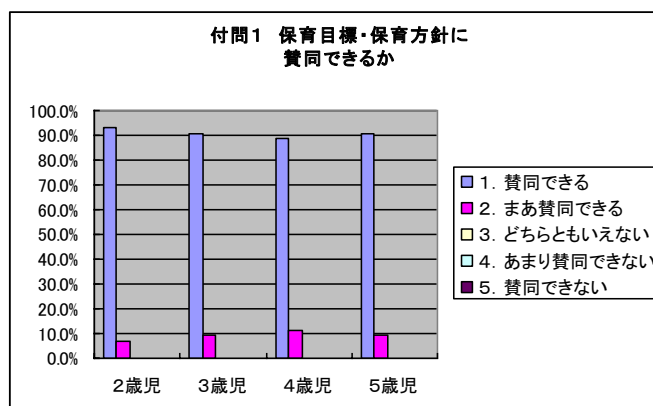
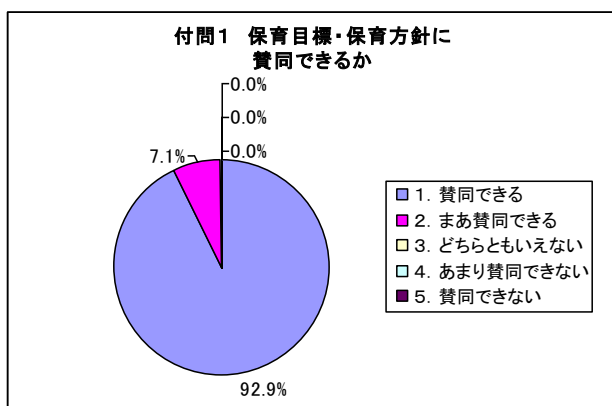
〔注〕 設問は1項目です。



付問1 賛同できるか

	計	%
1. 賛同できる	49	90.7%
2. まあ賛同できる	5	9.3%
3. どちらともいえない	0	0.0%
4. あまり賛同できない	0	0.0%
5. 賛同できない	0	0.0%
総数	54	

〔注〕 問1の回答が1~2の人の回答数です。

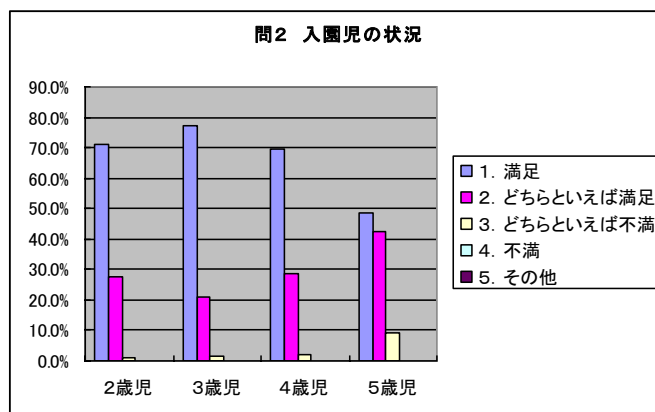
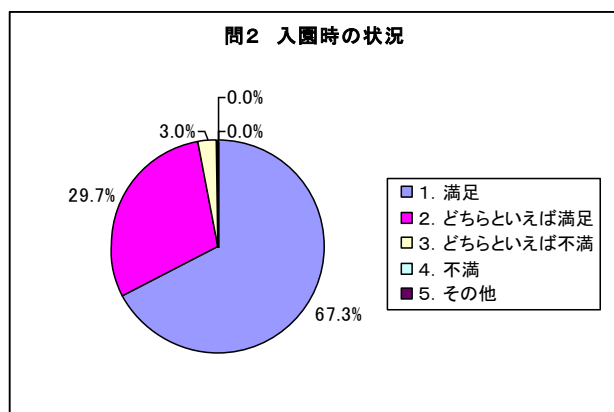


【サービス内容の満足度】

問2 入園時の状況

	計	%
1. 満足	222	67.3%
2. どちらといえば満足	98	29.7%
3. どちらといえば不満	10	3.0%
4. 不満	0	0.0%
5. その他	0	0.0%
総数	330	

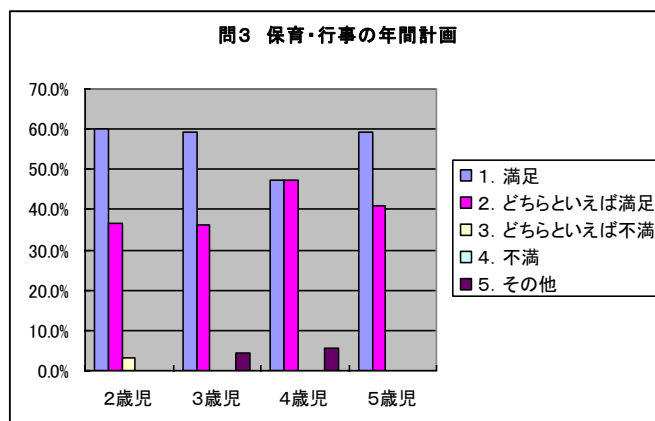
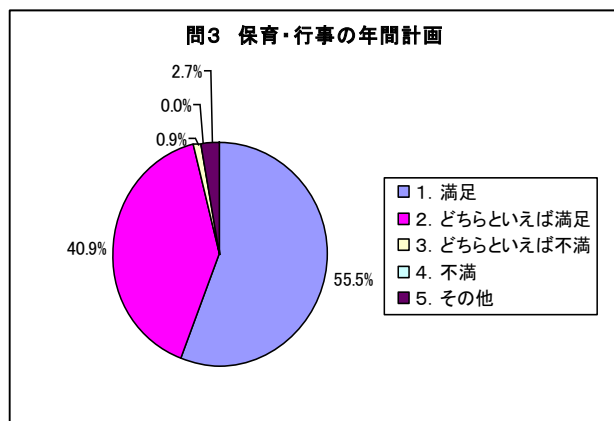
〔注〕 6項目の設問についての回答の合計です。



問3 保育・行事の年間計画

	計	%
1. 満足	61	55.5%
2. どちらといえば満足	45	40.9%
3. どちらといえば不満	1	0.9%
4. 不満	0	0.0%
5. その他	3	2.7%
総数	110	

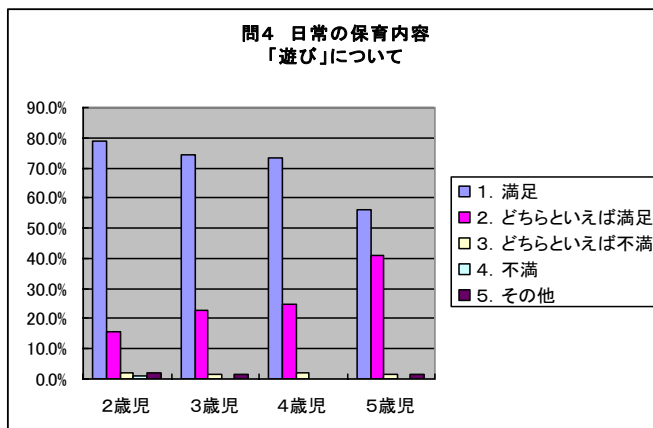
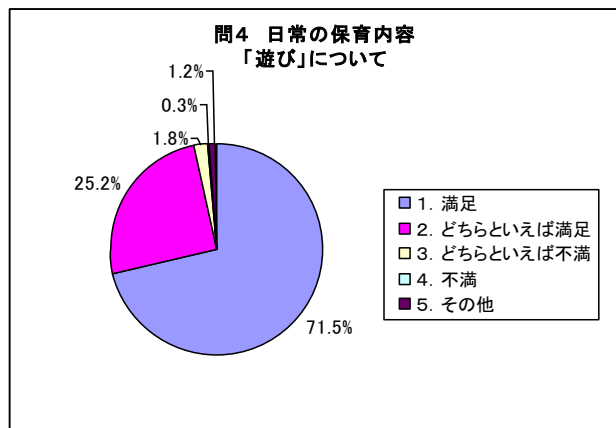
〔注〕 2項目の設問についての回答の合計です。



問4 日常の保育内容
「遊び」について

	計	%
1. 満足	236	71.5%
2. どちらといえば満足	83	25.2%
3. どちらといえば不満	6	1.8%
4. 不満	1	0.3%
5. その他	4	1.2%
総数	330	

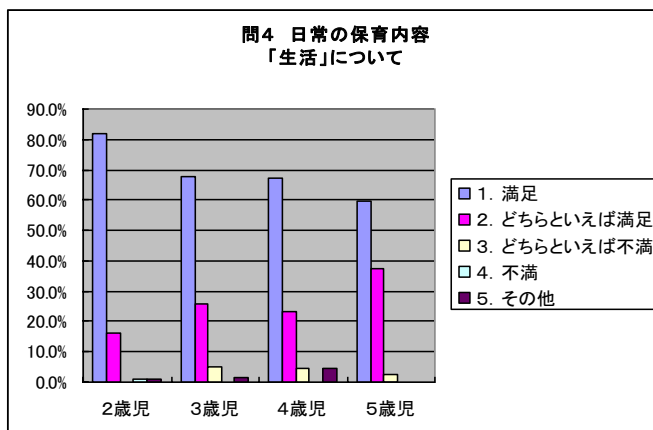
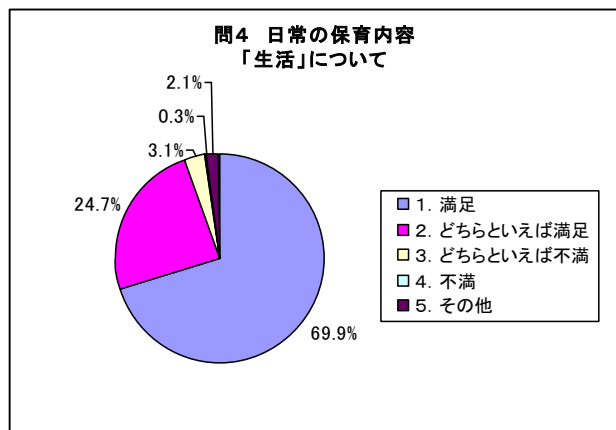
【注】 6項目の設問についての回答の合計です。



問4 日常の保育内容
「生活」について

	計	%
1. 満足	269	69.9%
2. どちらといえば満足	95	24.7%
3. どちらといえば不満	12	3.1%
4. 不満	1	0.3%
5. その他	8	2.1%
総数	385	

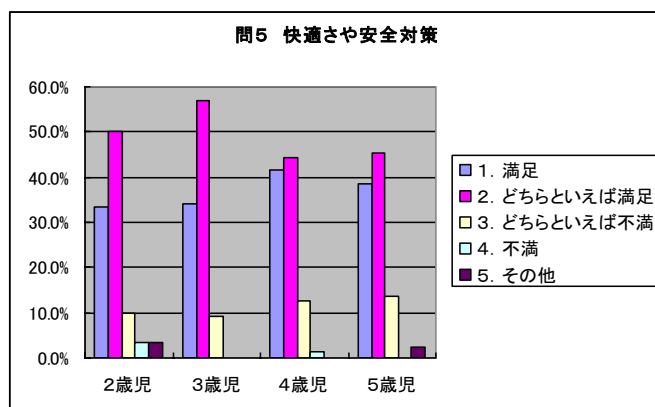
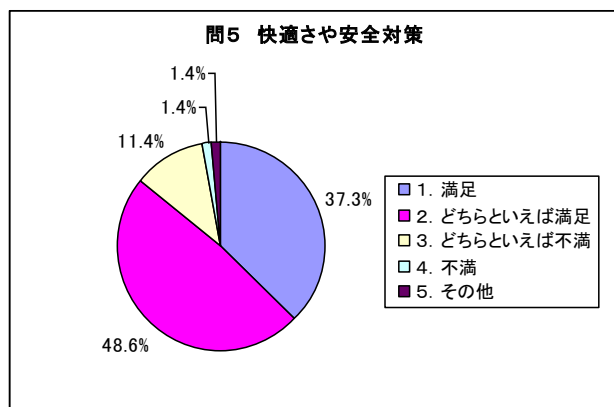
【注】 7項目の設問についての回答の合計です。



問5 快適さや安全対策

	計	%
1. 満足	82	37.3%
2. どちらといえば満足	107	48.6%
3. どちらといえば不満	25	11.4%
4. 不満	3	1.4%
5. その他	3	1.4%
総数	220	

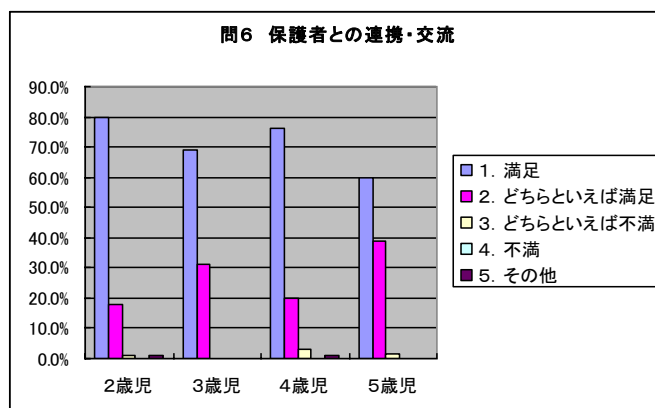
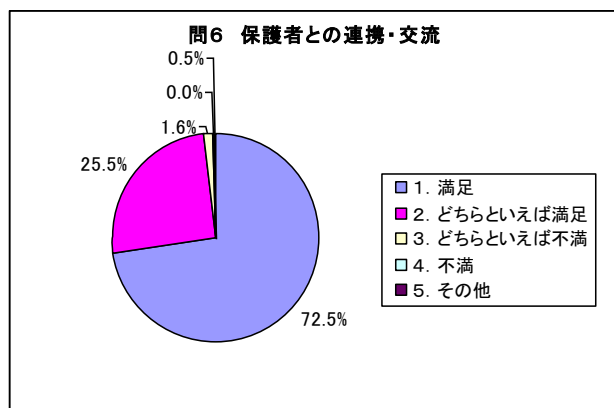
〔注〕 4項目の設問についての回答の合計です。



問6 保護者との連携・交流

	計	%
1. 満足	279	72.5%
2. どちらといえば満足	98	25.5%
3. どちらといえば不満	6	1.6%
4. 不満	0	0.0%
5. その他	2	0.5%
総数	385	

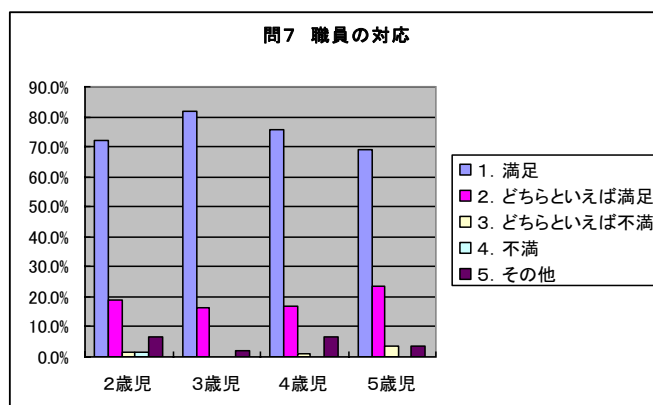
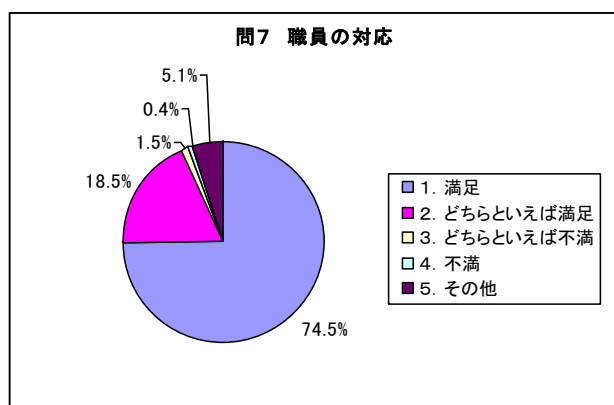
〔注〕 7項目の設問についての回答の合計です。



問7 職員の対応

	計	%
1. 満足	205	74.5%
2. どちらといえば満足	51	18.5%
3. どちらといえば不満	4	1.5%
4. 不満	1	0.4%
5. その他	14	5.1%
総数	275	

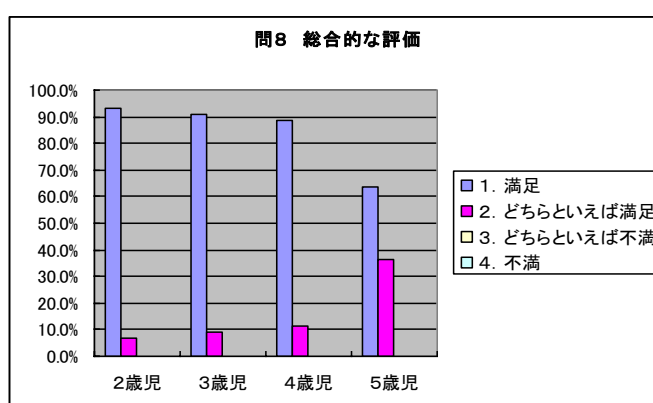
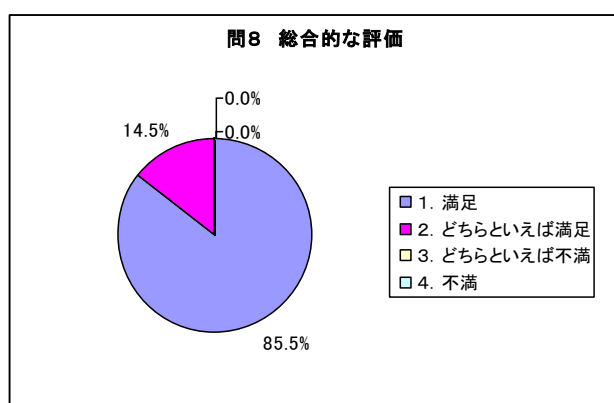
〔注〕 5項目の設問についての回答の合計です。



問8 総合的な評価

	計	%
1. 満足	47	85.5%
2. どちらといえば満足	8	14.5%
3. どちらといえば不満	0	0.0%
4. 不満	0	0.0%
総数	55	

〔注〕 設問は、1項目です。

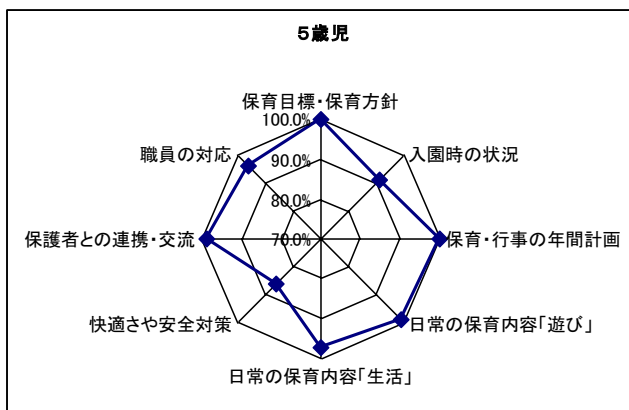
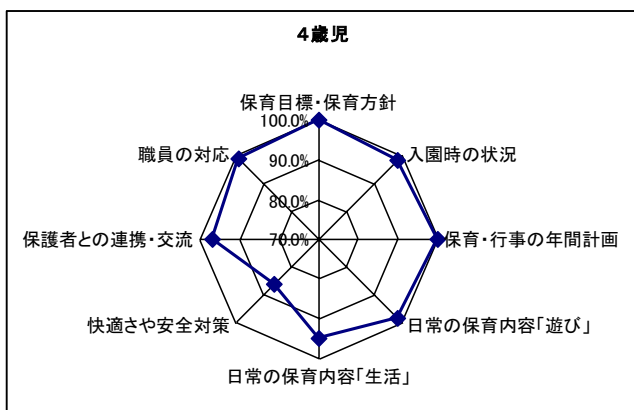
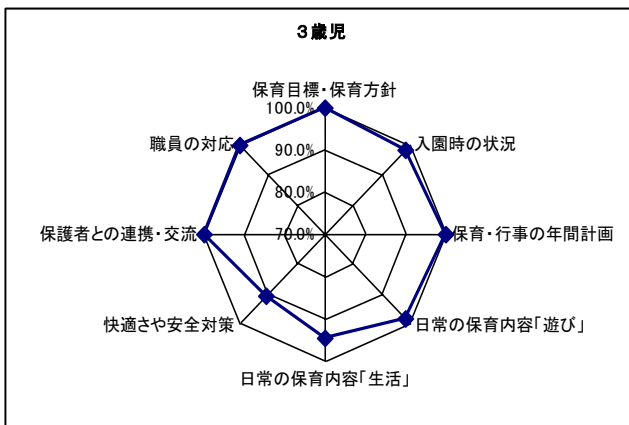
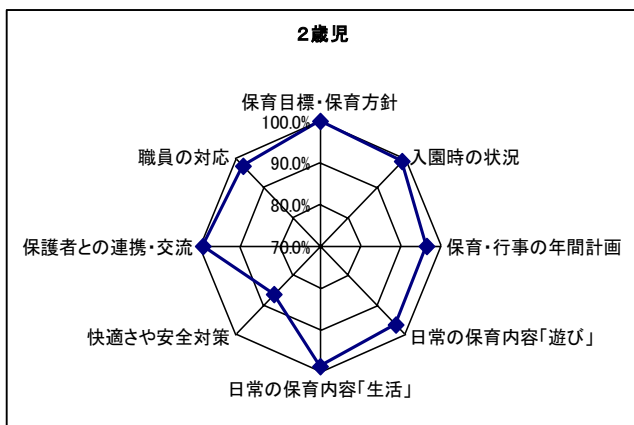
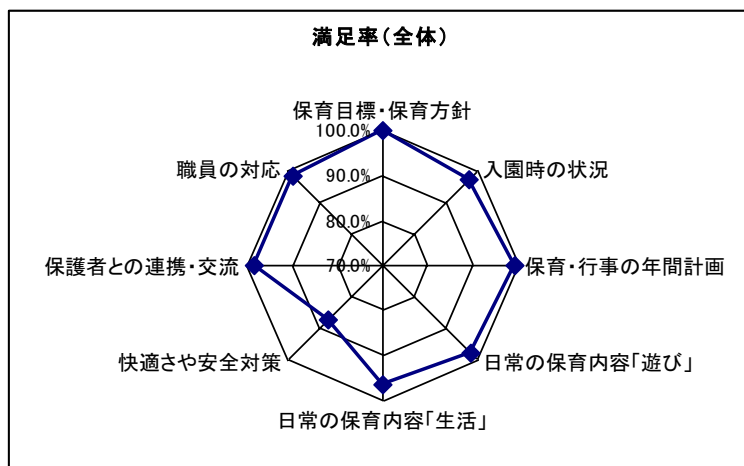


(5) アンケート結果(問別の満足率比較)

満足率(%)

	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
保育目標・保育方針	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
入園時の状況	98.9%	98.5%	98.1%	90.9%	97.0%
保育・行事の年間計画	96.7%	100.0%	100.0%	100.0%	99.1%
日常の保育内容「遊び」	96.6%	98.5%	98.1%	98.5%	97.9%
日常の保育内容「生活」	99.0%	94.7%	95.0%	97.4%	96.6%
快適さや安全対策	86.2%	90.9%	86.1%	86.0%	87.1%
保護者との連携・交流	99.0%	100.0%	96.8%	98.7%	98.4%
職員の対応	97.1%	100.0%	98.8%	96.2%	98.1%

〔注〕 満足率は、「その他」を除く全回答数に対する「満足」と「どちらといえば満足」の回答数の割合を表します。
 なお、下のグラフは、傾向を分かりやすくするために、小さな違いを強調して表しています。



〔付表〕 利用者家族アンケート様式

利用者家族アンケート

保育園についてのアンケート

■はじめに、この保育園に通っているお子さんについてうかがいます。(この保育園に2人以上通っている場合は、下のお子さんについてお答えください。)

お子さんは何歳児クラスですか。(○は1つだけ)

1 0歳児クラス	3 2歳児クラス	5 4歳児クラス
2 1歳児クラス	4 3歳児クラス	6 5歳児クラス

■保育園の基本理念や基本方針についておたずねします。

問1 あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか(○は1つだけ)

1 よく知っている	3 どちらともいえない	4 あまり知らない
2 まあ知っている		5 まったく知らない

付問1 【「1 よく知っている」または「2 まあ知っている」とお答えの方へ】

あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。(○は1つだけ)

1 賛同できる	3 どちらともいえない	4 あまり賛同できない
2 まあ賛同できる		5 賛同できない

■ここからは保育園のサービス内容について、満足度をおたずねします。

問2 お子さんが入園する時の状況についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。(○はそれぞれ1ずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。)

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他
見学の受け入れについては	1	2	3	4	5
	その他 [] ←				
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	1	2	3	4	5
	その他 [] ←				
園の目標や方針についての説明には	1	2	3	4	5
	その他 [] ←				
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	1	2	3	4	5
	その他 [] ←				
保育園での1日の過ごし方についての説明には	1	2	3	4	5
	その他 [] ←				
費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)	1	2	3	4	5
	その他 [] ←				

問3 保育や行事の年間計画についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。
 (〇はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。)

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他
年間の保育や行事についての説明には	1	2	3	4	5
	その他 [] ←				
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	1	2	3	4	5
	その他 [] ←				

問4 日常の保育内容についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。
 なお、乳幼児期の保育は、教育的なねらいを持った遊びを通して行われています。
 (〇はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。)

「遊び」について	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	1	2	3	4	5
	その他 [] ←				
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	1	2	3	4	5
	その他 [] ←				
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	1	2	3	4	5
	その他 [] ←				
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	1	2	3	4	5
	その他 [] ←				
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	1	2	3	4	5
	その他 [] ←				
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	1	2	3	4	5
	その他 [] ←				

「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
給食の献立内容については	1	2	3	4	5
	その他 [] ←				
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	1	2	3	4	5
	その他 [] ←				
基本的な生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては	1	2	3	4	5
	その他 [] ←				
屋敷や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	1	2	3	4	5
	その他 [] ←				
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	1	2	3	4	5
	その他 [] ←				
お子さんの体調への気配りについては	1	2	3	4	5
	その他 [] ←				
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	1	2	3	4	5
	その他 [] ←				

問5 保育園の快適さや安全対策などについてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。（○はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。）

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
施設設備については	1	2	3	4	5
	その他 [] ←				
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	1	2	3	4	5
	その他 [] ←				
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	1	2	3	4	5
	その他 [] ←				
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	1	2	3	4	5
	その他 [] ←				

問6 園と保護者との連携・交流についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。
 (○はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。)

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	1	2	3	4	5
	その他 ()				
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	1	2	3	4	5
	その他 ()				
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	1	2	3	4	5
	その他 ()				
送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	1	2	3	4	5
	その他 ()				
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	1	2	3	4	5
	その他 ()				
保護者からの相談事への対応には	1	2	3	4	5
	その他 ()				
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については	1	2	3	4	5
	その他 ()				

問7 職員の対応についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。
 (○はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。)

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他
あなたのお子さんが大切にされているかについては	1	2	3	4	5
	その他 ()				
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	1	2	3	4	5
	その他 ()				
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	1	2	3	4	5
	その他 ()				
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	1	2	3	4	5
	その他 ()				
意見や要望への対応については	1	2	3	4	5
	その他 ()				

問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか。

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満
総合満足度は	1	2	3	4

問9 施設への要望などがあれば、自由にご記入ください。

--

IV. 事業所意見

第三者評価を受けて

第三者評価という言葉を目にして久しくなります。今回、第三者評価を受けるにあたって、振り返りますと約3年の準備期間がありました。その間、保育内容から指導計画、またマニュアルの整備など園長、主任保育士を中心にして職員1人ひとりが時間を費やし、一つひとつ準備をしてきました。たくさんのお話し合いをする中で、自園の保育の特徴や強み、誇れる点、など明確になりました。明確になった分、更なる質の向上をめざして頑張れることもできました。第三者評価を受け、得られたことは、取り組む事に当たって、職員一人ひとりの質の向上が、園全体の質の向上につながったこと、職員が心と力を合わせて一つの事に取り組めたこと、と強く感じております。今は、評価結果はもとより、達成感で一杯です。ありがとうございました。

利用者アンケートの中で、「保育園の快適さや安全対策」についての設問に対してが、他の設問に比べると満足度が低くなっておりました。物的環境では、国の基準はクリアしているものの、施設に対して子どもの人数が多いということは、自認しております。ただ、そうなった過程において説明させていただきます。平成4年、神奈川県初の夜間保育所としてスタートした時には、定員30名でした。認可保育園としての務めを果たそうと平塚市の待機児対策の解消に協力するうちに定員が増えることになり、平成14年、系列保育園「苗・もんもん保育園」が設立した時には定員60名、いつの間にか初年度の倍の子ども達をお預かりする事になりました。ただ、施設や園庭が手狭に感じる分、保育内容では積極的に園外活動を多く取り入れておりますし、体操教室も導入し、子ども達の身体的な成長に関しては危惧しているところはございません。利用者の皆さまには、その点をご理解いただけていると思っております。平成20年4月には、新園が開園いたしますので、自園の定員も60名から45名へ変更します。保育室もゆったりと使えますので、子ども達にとって‘第二の家庭’になるような保育園になるように、環境作りに尽力してまいります。

今回の評価結果がインターネット上で公表され、子育てをしている全てのご家庭において情報提供をすることができたら、幸いに思います。今回の評価結果に恥じぬよう、子ども達の最善の幸福のために、更なる質の向上を目指して行くことをここにお約束いたします。最後に利用者アンケートにご協力して下さった保護者の皆さま、本当にありがとうございました。今回の評価結果をどのように受け止めて下さったか、感想や意見を交わせる時を楽しみにしております。

もんもん保育園
園長 金子 玲子